

2025 年度

新渡戸カレッジ 入校・履修の手引き

オナーズプログラム

大学院カリキュラム

北海道大学 新渡戸カレッジ

## 2025年度 オナーズプログラム大学院カリキュラム行事予定表

### 春・夏ターム

月	日 (曜日)	行 事
3	11 (火) 17 (月) 21 (金)～24 (月)	<春募集受付開始> <春募集受付終了> TOEIC-IPテスト実施 (オンライン)
4	9 (水)正午 9 (水)～16 (水) 19 (土)	合格発表 入校確認書提出期間 入校式、グローバル発展科目Ⅰ授業開始
5	13 (火)～15 (木)	春・夏ターム履修登録科目の取消申請期間
6	4 (水) 11 (水) 15 (日)	グローバル発展科目Ⅰ授業終了 グローバル発展科目Ⅱ授業開始 メンターフォーラム
7	1 (火)～3 (木) 23 (水)	夏ターム履修登録科目の取消申請期間 グローバル発展科目Ⅱ授業終了
8	20 (水) 20 (水)～22 (金) 26 (火)	春・夏ターム成績公開 成績評価申立て受付期間 <秋募集受付開始>
9	2 (火) 5 (金)～8 (月) 中旬～下旬 24 (水)正午 24 (水)～29 (月)	<秋募集受付終了> TOEIC-IPテスト実施 (オンライン) 修了式 (9月修了) 合格発表 入校確認書提出期間

### 秋・冬ターム

月	日 (曜日)	行 事
10	4 (土)	入校式、グローバル発展科目Ⅰ授業開始
11	4 (火)～6 (木) 19 (水) 26 (水)	秋・冬ターム履修登録科目の取消申請期間 グローバル発展科目Ⅰ授業終了 グローバル発展科目Ⅱ授業開始
12	13 (土) 23 (火)～25 (木)	メンターフォーラム 冬ターム履修登録科目の取消申請期間
1	14 (水)	グローバル発展科目Ⅱ授業終了
2	13 (金) 13 (金)～17 (火)	秋・冬ターム成績公開 成績評価申立て受付期間
3	中旬 中旬～下旬	<2026年度募集受付開始> 修了式 (3月修了)

#### > 4学期制実施スケジュール

	<u>グローバル発展科目Ⅰ・Ⅱ</u>	<u>履修取消期間</u>
<u>春ターム</u>	4/19 (土)～6/4 (水)	5/13 (火)～5/15 (木)
<u>夏ターム</u>	6/11 (水)～7/23 (水)	7/1 (火)～7/3 (木)
<u>秋ターム</u>	10/4 (土)～11/19 (水)	11/4 (火)～11/6 (木)
<u>冬ターム</u>	11/26 (水)～1/14 (水)	12/23 (火)～12/25 (木)

#### > 土・日・祝に実施する行事及び授業

4/19 (土) 入校式、グローバル発展科目Ⅰ	10/4 (土) 入校式、グローバル発展科目Ⅰ
6/15 (日) メンターフォーラム、授業	12/13 (土) メンターフォーラム、授業

## はじめに

この手引きは、新渡戸カレッジオナーズプログラムの大学院カリキュラムへの入校を希望する皆さん、ならびに入校した皆さんに、プログラムのしくみについて理解してもらうことを目的として作成されたものです。

特に、入校した皆さんにはプログラムを履修する上での重要な事項を説明していますので、折に触れて読み返し、修了するまで大切に保管してください。

## 掲示について

履修や修了に係る手続きや奨学金の募集等、履修生へ通知すべき一切の事項は、ポートフォリオ上の「お知らせ」により通知されます。

## 新渡戸カレッジからの連絡

必要に応じて、新渡戸カレッジ教員及び事務職員（新渡戸カレッジ担当（大学院））から個別にメールや電話で連絡します。メールの見落とし及び誤読は取り返しのつかない事態を引き起こすことがありますので、必ず内容を確認し、期限内に応答してください。

# 目次

- ・2025年度 オナーズプログラム大学院カリキュラム行事予定表
- ・はじめに、掲示について、新渡戸カレッジからの連絡

I. 教育理念と方針.....	1
(i)入校の方針 .....	1
(ii)教育実施の方針 .....	1
(iii)修了認定・称号授与の方針.....	2
II. オナーズプログラム .....	2
III. 修了認定・称号授与 .....	2
1. 新渡戸カレッジオナーズプログラム大学院カリキュラムの入校と修了 .....	3
1-1. 春入校までの流れ .....	3
1-2. 秋入校までの流れ .....	3
1-3. オナーズプログラム大学院カリキュラムの入校と修了.....	4
2. 学修に関する事項 .....	5
2-1. 入校時期及び履修期間 .....	5
2-2. 在籍年限 .....	5
2-3. 授業時間帯と授業時間割.....	6
2-4. 履修登録について .....	6
2-5. 履修登録結果の確認と訂正について.....	6
2-6. 履修登録済み科目の取り消しについて.....	6
2-7. 成績評価に対する申立て制度.....	7
2-8. 履修の辞退・休止・再開.....	7
3. 教育課程 .....	8
3-1. 大学院カリキュラムの教育課程.....	8
4. 授業科目 .....	8
4-1. オナーズプログラム大学院カリキュラム.....	8
4-2. 各授業科目における3+1の力の割合.....	9
4-3. その他の授業科目 .....	9

5. 学修支援システム	9
5-1. ポートフォリオ	9
5-2. メンター	10
5-3. 奨学金制度	10
5-4. 新渡戸カレッジ履修生相談窓口	11
5-5. 北海道大学新渡戸カレッジ同窓ネットワーク	11
6. 学生支援員制度	12
6-1. コアチューター	12
6-2. チューター	12
6-3. 採用スケジュール	12
7. 新渡戸カレッジ学生交流室（大塚ルーム）	13
相談先一覧	14

## I. 教育理念と方針

北海道大学は、1876年の札幌農学校設立以来、その歴史の中で「フロンティア精神」「国際性の涵養」「全人教育」「実学の重視」という教育研究に関わる四つの基本理念を掲げるとともに、今日まで学問の自主、自由の精神を培ってきた。その中、札幌農学校の第二期生である新渡戸稲造は、豊かな精神性と真摯な活動により、本学の目指す人材育成において一つの規範とすべき存在といえる。特別教育プログラム「新渡戸カレッジ」では、新渡戸稲造から学ぶべき精神として、①各国・各地域間の架け橋となるべき「国際的精神の涵養」、②深い専門性の探究に加えて「幅広い一般的教養の修得」、③社会的リーダーにともなう義務「ノブレス・オブリージュの遂行」を掲げ、この三つを教育上の理念とする。

### (i) 入校の方針

新渡戸カレッジにおいては、本学の基本理念及び新渡戸稲造から学ぶ精神に基づきつつ、各々の学問分野における高い専門性を修得するとともに、分野横断的な教育プログラムの学びを通して、グローバルリーダーを育成する。そのため、新渡戸稲造から学ぶ精神を理解するとともに、新渡戸カレッジで学修する意欲にあふれ、またその教育を受けるにふさわしい外国語能力を有する学生を受入れる。

### (ii) 教育実施の方針（3＋1の力）

新渡戸カレッジにおいては、本学の基本理念及び新渡戸稲造から学ぶべき精神に基づきつつ、各々の学問分野における高い専門性を修得するとともに、分野横断的な教育プログラムの学びを通して、以下に記す力を身につけ、それらを発揮できるグローバルリーダーを育成する。

- ・能力更新力（社会の変化に応じて、新たに求められる知識を獲得し、自分を成長させていく能力及び創造的・批判的思考を相補的に駆使して計画・実践する能力）
- ・組織形成力（多様な専門性を有する人々とチームを組織し、高いコミュニケーション力でリーダーシップに貢献することにより、共通の目標に向けて協働し、成果に結びつける能力）
- ・社会還元力（社会的役割を認識し、責任感及び倫理観を持って、多様な状況下における課題を的確に把握し、それをより良い方向に解決していく能力）
- ・専門職倫理（価値観の多様化する社会における倫理的な問題を敏感に捉えつつ、高度な教育を受けた専門家として社会全体の利益や影響を考え、責任を持って公平・公正な決断を下す能力）

### (iii) 修了認定・称号等授与の方針

新渡戸カレッジにおいては、本学の基本理念及び新渡戸稲造から学ぶ精神に基づきつつ、各々の学問分野における高い専門性を修得するとともに、分野横断的な教育プログラムの学びを通して、3+1の力を身につけることを目標とする。その3+1の力、すなわち能力更新力、組織形成力、社会還元力、専門職倫理を有すると認められる者に修了を認定するとともに称号等を授与する。

## II. オナーズプログラム

新渡戸カレッジの教育プログラムは、オナーズプログラムの学部カリキュラム及び大学院カリキュラムから構成される。

各カリキュラムの受け入れ対象者、及び受け入れ人数は次表を参照すること。

プログラム名	コース名	受入対象者	受入人数
オナーズプログラム	学部カリキュラム	全学教育科目「総合科目（特別講義）グローバル基礎科目（『国際理解と海外留学』及び『リーダーシップとチームワーク』）（プレプログラム科目と称する）の2科目2単位を修得した学部学生及び現代日本学プログラム課程学生	各年度 150 名程度
	大学院カリキュラム	修士課程又は専門職学位課程に在籍する学生で以下に該当する者： ①大学院共通授業科目「グローバル実践科目Ⅰ」及び「グローバル実践科目Ⅱ」（プレプログラム科目と称する）の2科目4単位を修得した学生 ②新渡戸カレッジオナーズプログラム学部教育コース又は学部カリキュラム修了生のうち「Summa cum Laude」「Magna cum Laude」「Cum Laude」の称号を授与された学生 ③2023年度以前に新渡戸カレッジ基礎プログラム大学院教育コースを修了した学生	各学期 25 名程度

## III. 修了認定・称号授与

「オナーズプログラム大学院カリキュラム修了証書」及び「アソシエイト（大学院）」の称号を授与し、そのうち、成績において特に優れた者に対して、「優秀賞」を授与する。

## 1. 新渡戸カレッジオナーズプログラム大学院カリキュラムの入校と修了

### 1-1. 春入校までの流れ

手続き等	日程	備考
入校申請受付	3月11日(火)～3月17日(月)	オンラインの応募フォームから申し込むこと(※)
TOEIC-IP テスト(オンライン)実施	3月21日(金)～3月24日(月)	後日申込者に詳細を通知する
合格発表	4月9日(水) 正午	電子メールで通知
グローバル発展科目 I 初回授業	4月19日(土)	
入校式	4月19日(土)	

※入校申請は、上記受け付け期間中に以下の URL から行うこと。

<春入校生用応募フォーム>

<https://ws.formzu.net/dist/S54006613/>



### 1-2. 秋入校までの流れ

手続き等	日程	備考
入校申請受付	8月26日(火)～9月2日(火)	オンラインの応募フォームから申し込むこと(※)
TOEIC-IP テスト(オンライン)実施	9月5日(金)～9月8日(月)	後日申込者に詳細を通知する
合格発表	9月24日(水) 正午	電子メールで通知
グローバル発展科目 I 初回授業	10月4日(土)	
入校式	10月4日(土)	

※入校申請は、上記受け付け期間中に以下の URL から行うこと。

<秋入校生用応募フォーム>

<https://ws.formzu.net/dist/S81563627/>





### 1-3. オナーズプログラム大学院カリキュラムの入校と修了

入校要件：

- ① プレプログラム科目 2 科目 4 単位を修得していること
- ② 英語能力が一定の水準に達していること
- ③ 応募時に提出するレポート課題の評価が基準に達していること
- ④ 合格発表後、入校確認書を提出すること

補足事項：

- ① 英語能力について  
新渡戸カレッジが指定する TOEIC-IP テストを受験すること。  
英語で実施する授業への主体的な参加が可能な英語コミュニケーション能力の基準を、TOEIC-IP でスコア 700 とする。
- ② レポート課題では志望動機等を審査の対象とする。

プレプログラム科目単位修得の免除：

以下のいずれかの条件を満たす応募者について、プレプログラム科目の単位修得を免除する。

- ① オナーズプログラム学部教育コース又は学部カリキュラム修了生で、「Cum Laude」以上の称号を授与された学生
- ② 2023 年度以前に基礎プログラム大学院教育コースを修了した学生

TOEIC-IP テスト受験の免除：

以下のいずれかの条件を満たす応募者について、TOEIC-IP テスト受験を免除する。

- ① 国籍国の公用語が英語である場合
- ② オナーズプログラム学部教育コース又は学部カリキュラム修了生で、「Cum Laude」以上の称号を授与された学生
- ③ インテグレイテッドサイエンスプログラム (ISP) 修士課程学生
- ④ 2023 年度以前に基礎プログラム大学院教育コースを修了した学生

TOEIC-IP テスト受験の代替：

- ① TOEIC-IP テスト実施日より遡って 2 年以内に実施された TOEFL (iBT 及び ITP) 又は TOEIC (TOEIC 公開テストも可) のスコアレポート (写しも可) 若しくは IELTS の成績証明書 (写しも可) を提出することにより、TOEIC-IP テスト受験の代替とすることができる。
- ② TOEIC-IP スコア 700 の参考スコア：TOEFL-iBT 76、TOEFL-ITP 540、IELTS 5.0

#### 在籍確認：

オナーズプログラム入校後、春入校生は7月及び秋入校生は1月に実施する「履修計画アンケート」への回答をもって、修了の意思確認、及び履修の継続を希望する者の在籍確認を行う。

#### 退校：

以下のいずれかに該当する場合、退校となる。

- ① 上記の在籍確認の要件を満たさない場合。
- ② 連続する2タームにおいてプログラムの履修を確認できない場合。

#### 修了要件：

以下の2つの要件を満たすこと。

- ① グローバル発展科目Ⅰを含む4単位以上を修得すること。
- ② ポートフォリオを継続して作成すること。

#### 称号等の授与：

オナーズプログラム大学院カリキュラムを修了した者には「オナーズプログラム大学院カリキュラム修了証書」及び「アソシエイト（大学院）」の称号を授与する。その他、以下の基準により「優秀賞」を授与する。

基準	賞
アソシエイト（大学院）のうち、成績において特に優れた者若干名。	優秀賞

## 2. 学修に関する事項

### 2-1. 入校時期及び履修期間

新渡戸カレッジの大学院カリキュラムの入校時期は、4月及び10月である。

入校生の履修期間

春入校生：4月～9月（春ターム及び夏ターム）

秋入校生：10月～3月（秋ターム及び冬ターム）

### 2-2. 在籍年限

最短半年間で修了可能であるが、修了に必要な単位修得後も履修の継続を希望する者は、指定の期間に在籍確認で申し出ること。なお、修了に必要な単位修得後も継続履修する場合であっても、修士課程および専門職学位課程に在籍している期間（標準年限内に限る）

を越えて在籍することはできない。

### 2-3. 授業時間帯と授業時間割

- ① 授業は、原則通常の授業時間帯と同じく開講される。ただし、行事、特別講義及びイベント等は休日に開講される場合がある。
- ② 授業時や不定期の行事等に関しては、ポートフォリオへの掲載、又はメールにて周知する。

### 2-4. 履修登録について

- ① 履修科目の選択にあたっては、本手引き「4. 授業科目」及び「シラバス」を参照し、修了要件を満たすことができるよう履修計画をたてること。
- ② 履修登録は所属大学院の履修登録スケジュール等に従い、各自で登録すること。
- ③ 新渡戸カレッジ独自科目：所定の期間に科目を担当する新渡戸カレッジオナーズプログラム大学院カリキュラムの教員に履修希望の申し出を行うこと。

### 2-5. 履修登録結果の確認と訂正について

- ① 登録締め切り後、登録された科目が、自分の履修計画と一致しているかを確認すること。
- ② 確認の結果、訂正が必要な場合は、各授業の開始前に、新渡戸カレッジ担当（大学院）にメール等により申し出ること。

### 2-6. 履修登録済み科目の取り消しについて

やむを得ない理由により履修登録済み科目の履修を継続できなくなった場合、履修登録取消し申請を受け付ける。なお、この期間以降の取消し希望は原則受け付けないので、十分に注意すること。

- ① 申請期間：(春・夏ターム) 5月13日(火)～5月15日(木)  
(夏ターム) 7月1日(火)～7月3日(木)  
(秋・冬ターム) 11月4日(火)～11月6日(木)  
(冬ターム) 12月23日(火)～12月25日(木)
- ② 申請方法：様式「履修登録科目取消申請書」に必要事項を記載し、新渡戸カレッジ担当（大学院）(nitobe-school-office@academic.hokudai.ac.jp)へメール添付にて提出すること。様式については別途メールで周知する。

## 2-7. 成績評価に対する申立て制度

成績評価に異議がある履修生は、以下の場合にその旨を申し立てることができる。

- ① シラバスに記載してある成績評価方法や授業中に指示のあった成績評価方法と、異なる成績評価方法により評価されたことを、学生が具体的事実をもって示すことができる場合。
- ② 明らかに誤記入（採点ミス、登録ミス）によるものと思われる場合で、学生が具体的事実をもって示すことができる場合。

申立てがあった場合は、科目責任者へ照会され、必要に応じて学生及び授業担当教員から事実関係の聞き取りを行った上で、調査結果を回答する。

成績評価に関する問い合わせ、及び申立ての方法については、メール、ポートフォリオ、新渡戸カレッジウェブサイトで周知する。

## 2-8. 履修の辞退・休止・再開

オナーズプログラム大学院カリキュラムを辞退、休止又は再開する場合は、担当教員（新渡戸カレッジ特任教員）に相談の上、以下に示す届出書を新渡戸カレッジ担当（大学院）窓口へ提出すること。

なお、授業運営に影響があるため、辞退又は休止する可能性がある際には、できるだけ早めに相談すること。

- ① 各種届出書は、新渡戸カレッジウェブサイトからダウンロードすること。  
「大学院カリキュラム」>「履修生向け情報」
- ② 辞退及び休止を希望する学生は上記ウェブページ掲載の「履修の辞退・休止・再開の届出」を必ず参照すること。
- ③ 各種届出書を提出する際には、所属学院等の指導教員の署名が必要である。

### 各種届出書・提出日・提出先

目的	届出書	提出日
辞退するとき	辞退届	辞退日の2週間前までに提出
休止するとき	休止届	休止開始日の2週間前までに提出
再開するとき	再開届	再開日の2週間前までに提出
担当教員	新渡戸カレッジ教員 (連絡先) nitobecollegegraduates@high.hokudai.ac.jp	
提出先	新渡戸カレッジ担当（大学院） 場所：高等教育推進機構 1F、⑥番窓口 受付時間：平日 8：30～17：00	

### 3. 教育課程

#### 3-1. 大学院カリキュラムの教育課程

教育課程は、全ての大学院修士課程及び専門職学位課程入学者の中から一定レベルの英語能力を有した学生を対象に学院・専攻等の垣根を越えて、特別なカリキュラムを提供する。

### 4. 授業科目

授業科目は、次のような科目群に分かれる。授業内容については、本学ウェブサイト及び新渡戸カレッジウェブサイトに掲載の授業計画（シラバス）に記載されているので、開講時期や履修条件をよく読んで授業に臨むこと。

大学院共通授業科目履修案内：

<https://sites.google.com/elms.hokudai.ac.jp/igs/home/>

新渡戸カレッジウェブサイト（カリキュラム）：

<https://nitobe-college.academic.hokudai.ac.jp/gs-curriculum/g-curriculum>

※大学院共通授業科目の修了単位への認定状況については、各学院等の学生便覧を参照すること。

#### 4-1. オナーズプログラム大学院カリキュラム

授業科目	単位	ターム	曜日・講時	修了要件	開講形態
グローバル発展科目Ⅰ（課題解決の実践）	2	春/秋	水 5-6	必修	大学院共通授業科目
グローバル発展科目Ⅱ（課題発見の基礎と実践）	2	夏/冬	水 5-6	選択	大学院共通授業科目
新渡戸カレッジ特別演習	[1] 又は [2] *1	集中	集中	選択	大学院共通授業科目 新渡戸カレッジ 独自科目*2
修了に必要な単位数	グローバル発展科目Ⅰを含む4単位以上				

\*1 単位欄中の数字に [ ] のつけてある授業科目は、複数の講義題目により行われ、それぞれ一の授業科目として履修することができる。

\*2 新渡戸カレッジが独自に開講する科目のため、所属学院等の修了単位には含まれない。

（函館キャンパス所属学生の履修について）

- ・グローバル発展科目Ⅰ及びⅡをオンラインで受講することができる。
- ・新渡戸カレッジ特別演習の履修については、新渡戸カレッジ特任教員に問い合わせること。

#### 4-2. 各授業科目における3+1の力の割合

下記の表は、「3+1の力」を修得するために、各授業科目がどのような役割を果たしているのかを示している。

科目名	単位	%				
		能力更新力	組織形成力	社会還元力	専門職倫理	
グローバル発展科目Ⅰ（課題解決の実践）	2	20	30	30	20	
グローバル発展科目Ⅱ（課題発見の基礎と実践）	2	20	30	30	20	
新渡戸カレッジ特別演習	① デモクラ（企業課題解決演習）	2	10	20	50	20
	② ハルトプライズチャレンジ	2	10	20	50	20
	③ セルフキャリア発展ゼミ（大学院）	1	50	10	20	20
	④ アントレプレナーシップ	1	10	30	40	20
プレプログラム科目	グローバル実践科目Ⅰ（チーム学習の基礎）	2	30	40	10	20
	グローバル実践科目Ⅱ（チーム学習の実践）	2	20	40	10	30

#### 4-3. その他の授業科目

専門横断科目「実践英語（上級）2025」について

専門横断科目は、学部2年次以上に在籍する学生を対象とした専門科目で、新渡戸カレッジではオナーズプログラム学部カリキュラム学生向けに、参考習熟度レベル TOEFL-ITP550点（TOEFL-iBT80点）以上を対象とした専門横断科目「実践英語（上級）2025」（2単位・定員15名程度）を開講する。

学期を通しての履修により英語コミュニケーション能力の向上を希望する履修生は、本科目を履修することができる。オナーズプログラム大学院カリキュラムの修了要件には含まれないが、履修希望者は、シラバス及び新渡戸カレッジの掲示板で詳細を確認すること。

### 5. 学修支援システム

#### 5-1. ポートフォリオ

新渡戸ポートフォリオ（NPF）は、学修や研究の履歴を記録するオンラインシステムで、

プログラム履修生の学修・研究の管理を双方向のコミュニケーションにより支援するものである。

NPF を使用することにより、学生は自身の研究活動や新渡戸カレッジでの学修状況を認識・評価・改善することができ、指導教員等は NPF に基づき、より適切・効率的な指導を行うことが可能になるため、履修生は本システムを積極的に活用すること。

#### 5-2. メンター

メンターは、実社会での経験を活用して、履修生のキャリア意識の醸成、社会的視野の拡大、及び人的ネットワークの形成を支援するものである。

メンターフォーラムにおける講演及び交流会を通じて、メンターの実社会における経験に基づく貴重なメッセージ及びアドバイスを得ることができるため、履修生は積極的にメンターと交流し、自身のキャリア形成の一助とすること。

メンターには、主に社会の多様な分野で活躍している北海道大学大学院修了者（あるいは北海道大学と関わりのある大学院修了者）が就任する。

#### 5-3. 奨学金制度

オナーズプログラム大学院カリキュラム履修生を対象に、選考の上、奨学金を支給するもの。受給者の選考にあたっては、申請書類の内容等から総合的に判断する。

各奨学金制度の詳細については別途周知する。

##### ① 新渡戸カレッジオナーズプログラム大学院カリキュラム奨学金

目的：修学支援

給付概要：15名を上限とする、給付額 200,000 円

申請時期：オナーズプログラム大学院カリキュラム入校申請と同時期

##### ② 新渡戸カレッジ（海外留学）奨学金

目的：海外における学修・研究の促進

申請資格：(1) 北海道大学と大学間交流協定及び部局間交流協定を締結している大学等に交換留学制度を利用して留学する者。

(2) 本学の短期留学（大学院レベル短期留学及び国際インターンシップ）に派遣される者。

補足事項：大学院レベル短期留学について

各学院等で独自に開発し、単位認定している短期留学プログラムを履修し、単位認定された場合。詳細は各学院等に確認すること。

#### 5-4. 新渡戸カレッジ履修生相談窓口

新渡戸カレッジの大学院カリキュラムの履修上の問題、及び所属学院等における教育・研究活動との両立等の問題に対し、適切な助言や援助を行うもの。

相談を希望する履修生は、メールで予約申し込みを行うこと。

予約方法：メールの件名を「相談予約」と明記し、本文に①氏名、②学生番号、③電話番号、及び④大まかな相談内容を記載すること。折り返し相談日時を調整する。

連絡先： nitobe-school-office@academic.hokudai.ac.jp

#### 5-5. 北海道大学新渡戸カレッジ同窓ネットワーク

北海道大学新渡戸カレッジ同窓ネットワークは、新渡戸カレッジの修了生、在校生、フェロー・メンター、及び関係教員などによる相互交流の場を提供し、ネットワークの構築を支援するものである。

履修生は、所属学院等における専門性の修得、及び新渡戸カレッジにおける専門性を活かす力の修得に加え、プログラム修了後も本同窓ネットワークにおいて自身のキャリア形成と発展に活用することができる環境を得る。



## 6. チューター制度

新渡戸カレッジ生の自主的な研修活動を促進するため、新渡戸カレッジの授業やイベント等の補助業務を通してリーダーシップを実践し、カレッジ生の学びと成長を支え、経済的支援を得る機会としてチューター制度を設けている。教員やフェローによる授業実施の支援やグループ活動におけるファシリテーター等、さまざまな業務に積極的かつ柔軟に取り組む姿勢が望まれる。

### 6-1. コアチューター

新渡戸カレッジでのチューターの経験がある者から、チューター全体の統括としてまとめ役を担うコアチューターを選出する。コアチューターは、中心メンバーとしてリーダーシップを発揮し、担当教員及びフェローとチューターとの調整やチューターへの指導助言を行う。グローバルリーダーとしての資質を伸ばすため、より積極的な姿勢が求められる。

【資格】 オナーズプログラムに在籍する 3年次以上の学部生及び大学院カリキュラムに在籍する又は新渡戸カレッジを修了した大学院生

【定員】 通年3名程度 【選出方法】 チューターとしての業務を教員が評価して選出

### 6-2. チューター

新渡戸カレッジの授業設計や授業支援に取り組む積極性と、学部や学年を超えた新渡戸カレッジ生同士の交流に関心がある学生を募集する。経験の有無は一切問わないが、チューター制度を活用しようとする自主性と積極性が求められる。

【資格】 オナーズプログラムに在籍する 2年次以上の学部生及び大学院カリキュラムに在籍する又は新渡戸カレッジを修了した大学院生

【定員】 前期・後期各25名程度 【選出方法】 公募を行い、書類審査により決定する

### 6-3. 採用スケジュール（予定）

	グローバル基礎科目	フェローゼミ
3月	募集開始	
4月	事前研修	
5月		
6月	夏ターム授業開始	
7月		募集開始
8月	事後研修	
9月		事前説明会、担当フェローとの打合せ
10月		第2学期授業開始
11月		
12月		チューター振り返り
勤務期間	事前研修1ヶ月＋授業実施2ヶ月、合計3ヶ月を予定	授業実施2ヶ月＋実施後1、2ヶ月（任意）を予定

※その他行事運営の支援を含む場合がある

## 7. 新渡戸カレッジ学生交流室（大塚ルーム）

場所：高等教育推進機構 1階 N143

新渡戸カレッジ学生交流室（以下「大塚ルーム」という。）は、新渡戸カレッジに在籍する学部生や大学院生が学習活動する場として、2020年に新設されたものである。その活動とは、授業や各種ゼミの予習・復習はもとより、自主的な学習会、さまざまな企画行事の準備・打合せ、フェローやメンターとの交流、TA及びチューターの業務などが含まれる。

### （1）概要

大塚ルームは演習室の広さ程度（定員30名弱まで）で、共用備品として、ラップトップPC（OS Windows8）、プリンター、ホワイトボード、プロジェクターを常備。

### （2）利用可能時間帯

平日9時～17時（17時以降や土日の利用を希望する場合は、新渡戸カレッジ担当（大学院）に相談すること）

### （3）利用予約方法

新渡戸カレッジ担当（大学院）へ下記情報をメールすること。メールの返信をもって予約を確定する。

- a. メール送信時の件名を“【大塚ルーム予約】希望日、学生番号と氏名”とする。
- b. メール本文には、学生番号・氏名・利用希望日時・用途（例：学生企画行事の打合せ、TA又はチューター業務のため、フェローゼミ打合せ等）、利用人数を記載する。

メール送信先：nitobe-school-office@academic.hokudai.ac.jp

### （4）利用対象者

新渡戸カレッジに在籍する学部生及び大学院生  
新渡戸カレッジ関連授業で採用されたTA及びチューター

### （5）その他利用にあたって注意事項

- ・最大利用時間は、上限2時間とする。
- ・共用備品の利用は自由だが、使用後は元に戻すこと（破損、汚損、紛失行為禁止）。
- ・新渡戸カレッジ関連授業や行事用教材を印刷することができる。
- ・飲食は原則として禁止する（密閉容器の飲み物を除く）。
- ・室内は清潔に保ち次の利用者への配慮を怠らないこと。
- ・換気を十分に行うこと。

\*注意事項を守ることができない場合は、利用を禁止することがあります。



新渡戸カレッジオナーズプログラム大学院カリキュラム相談先一覧

相談事項	担当教員等	場所・連絡先
主要科目の履修登録について	新渡戸カレッジ推進事務室 新渡戸カレッジ担当 (大学院)	高等教育推進機構 1F、⑥番窓口 内線番号 8187、5596 nitobe-school-office@academic.hokudai.ac.jp
奨学金関係		
各科目の履修について（出欠の相談を含む）	各科目の責任教員（新渡戸カレッジ特任教員）	各特任教員の連絡先を参照 （Web ならびにシラバス）
履修の辞退・休止・再開について	新渡戸カレッジ教員	nitobecollegegraduates@high.hokudai.ac.jp
新渡戸ポートフォリオ（NPF）		npf-system-manager@high.hokudai.ac.jp
新渡戸カレッジ修学について	履修生相談担当 副校長 教 頭 副校長補佐 教育支援責任者	新渡戸カレッジ担当（大学院）から連絡